

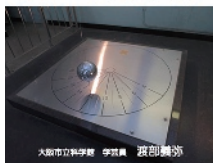
学芸員の研究発表など

冊子「フーコー振り子 見学・活用ガイド」

渡部 義弥(学芸員)

大阪市立科学館(平成30年度全国科学博物館活動助成成果物)

フーコー振り子 見学・活用ガイド



フーコー振り子について、日本国内の設置状況とその活用法、関連情報について纏めた冊子。フーコー振り子って何？どこにあり、どう見学したらよいの？ どんな観測実習があるの？ 設置者が知る運営メンテナンス。文献などの情報を24ページだてて掲載した。

なお、本冊子は随時改訂する。以降は電子版とし、無償で配布していく予定(現時点で未公開)。

研究発表「スペクトルを観察する演示実験の手法」

長谷川 能三(学芸員)

第47回 物理教育研究会(2019年11月23日)

スペクトルを観察していただくサイエンスショーは、1999年に初めて行ない、2018年までの間に通算5度、のべ1140回実施し、6万人あまりの方に見ていただいた。このサイエンスショーの内容について、使用する回折格子や光源等についての工夫点や改善点、最初にこの実験を行なってから現在に至るまでの社会の変化への対応などについて発表した。また、研究集会の会場で実際に実験を演示し、研究集会参加者に見ていただいた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や活動制限下で行ったオンライン活動についての発表(4件まとめて)

渡部 義弥(学芸員)

2020年2月末より5月までの臨時休館と、その後の対面イベントが制限される中で、急遽行った科学教育に関するオンライン実践や評価について緊急で4件の研究発表を行った(1件は編集集中)。リストのみ、かつ簡素化して掲げる。

「星空の連帯」天文教育研究会、2020年8月。「#ソラツナギの見られ方」JPA オンライン研修会、2020年10月。「#エア大阪市立科学館」全科協ニュースVol 50No6、2020年11月。「星空の連帯」JPA2020会誌、2021年3月予定